

T&D保険グループ

CSRレポート 2010

皆さまに信頼される保険グループであるために

フォーカス編



T&D

T&D保険グループ

私たちT&D保険グループの 一人ひとりが胸に抱く言葉。

Try —— 挑戦と、 Discover —— 発見と。

人は生きて、いろいろなことに出会います。
ときには思いがけない出来事も。

人が生きる、一つひとつのそのときを、
いつでも照らす明かりになりたい。

うれしいときを、もっとうれしく。
ほのぼのとしたときを、もっとあたたかく。
描いた夢には、もっと近づけるように。
難しい局面でも、それを乗り越える力がわいてきますように。

そう願いながら、お客さまを守り、安心をお届けすることが、
私たちの仕事です。

だから一歩、より高いところへ。
また一歩、より広い展望が開けるところへ。

Try —— 挑戦と、 Discover —— 発見と。

私たちの「挑戦」と「発見」の物語は続いています。



Contents 目次

第1章 お客さまのお役に立つための“挑戦と発見” …	3
第2章 企業市民としての“挑戦と発見” ……………	7
第3章 地球環境を守るための“挑戦と発見” ……………	9
T&D保険グループ CSR憲章と主な取り組み ……………	11
トップメッセージ ……………	13
第三者意見……………	14

T&D保険グループ経営理念

Try&Discover(挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

T&D保険グループ経営ビジョン

1. 最優の商品・サービスの提供により、お客さま満足度のトップを目指します。
2. グループの“強み”を最大限発揮できる分野での成長と創造を通じて、グループ企業価値の向上を目指します。
3. 高い倫理観のもと、法令等を遵守し、広く社会的責務を果たします。
4. 豊かな創造力と確かな実行力を備えた人材を育成し、活力あるグループを目指します。

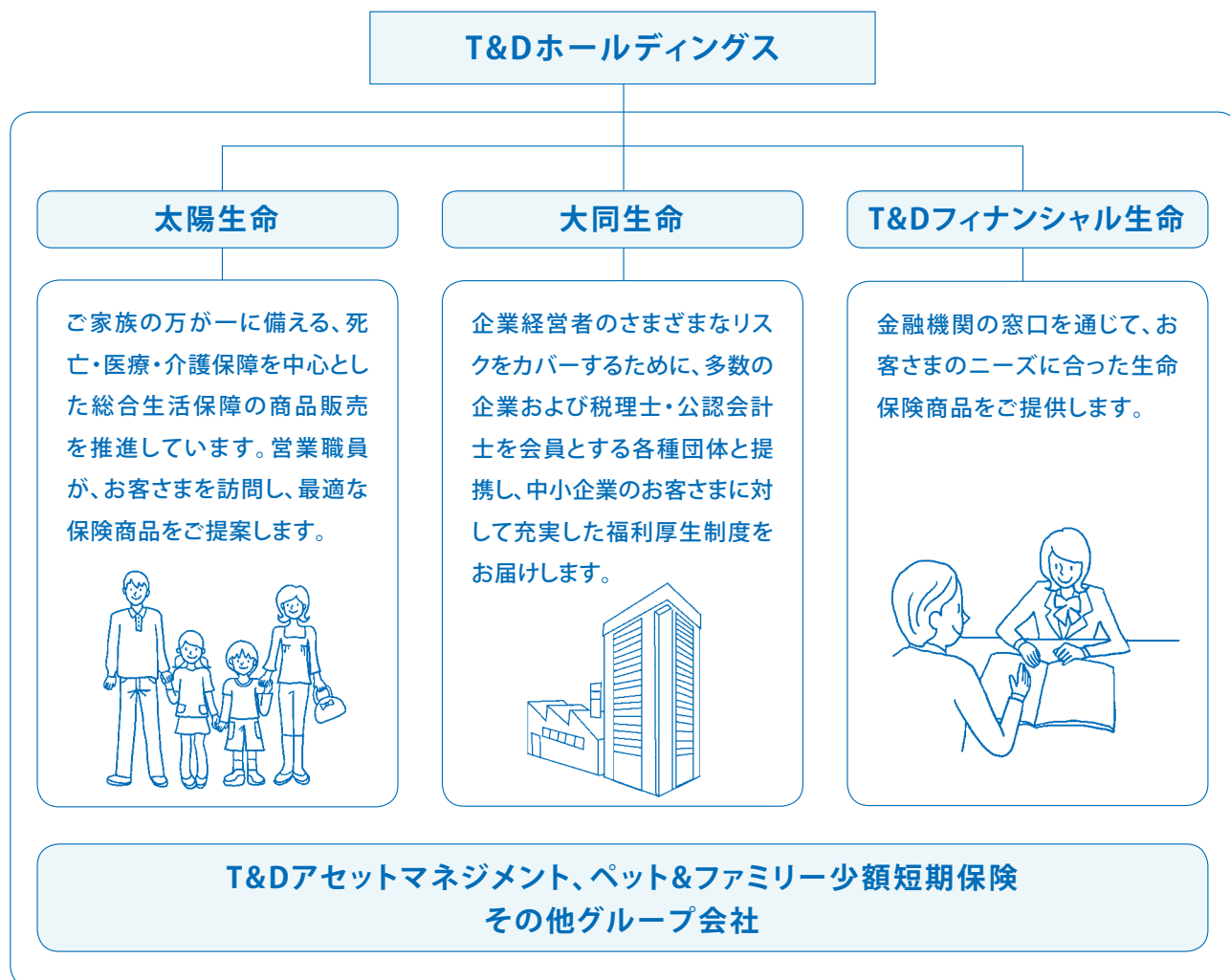
第1章

お客さまのお役に立つための 「挑戦 (Try) と発見 (Discover)」



T&D保険グループの3つの生命保険会社について

T&D保険グループは、持株会社であるT&Dホールディングスのもと、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の3つの生命保険会社を中心とする企業グループです。



3社それぞれのビジネスモデルにおける強み・独自性を発揮し、「保険」が必要なさまざまな場面でお客さまのお役に立つための、挑戦と発見を続けています。



お客様のライフプランに沿ったご提案ができる職員を育成するために、コンサルティング力の向上に取り組んでいます



町田支社 営業職員
山本 恵

入社してまず「eCompass」という研修プログラムで保険の役割や重要性などを学びました。自分が保険をよく理解してこそ、お客様にお勧めできます。お客様との出会いは「一期一会」。お客様から「あなたの話を聞いて、保険が大事だと伝わってきた」と言われ、真剣にきちんと伝えたいという気持ちの大切さを実感しています。入社して1年経った今、これまでの勉強や経験を活かし、お客様の立場に立ってお役に立ちたいと思います。主婦業との両立は大変かもしれませんが、金融全般の知識を習得するため、会社が奨励するFP（ファイナンシャル・プランナー）の資格取得にも挑戦します。

※2010年5月の試験で、FP3級に合格



豊中支社 営業職員
室田 正美

お客様に保険商品以外の難しい説明をしている他の保険会社の方がいて、「まだまだ自分の知らないことが一杯あるんだ」と心に残り、迷わずFP資格に挑戦しました。いろいろな知識は、お客様の万が一のときの保障をご提案するうえで、必ず必要になります。お客様に「保障が必要ですよ」と言うときも、具体的に遺族年金などの数字を示して話すようになりました。相続のご相談を受けたときは、「生命保険で準備しておけば控除が使えます」と説明ができて大変感謝していただきました。



営業部 営業教育課
美里 珠江

FP資格取得に向けて努力することで、営業職員は皆大きく成長しています。さまざまなことに努力できる人は、お客様のためにも努力できる人であるといえます。「太陽生命の全てのお客様を守る」という強い気持ちと誇りを常に持って、「生命保険の意義」を伝えられる職員に成長してほしいと思います。私たち営業教育課は、公的保障制度や法改正などの新しい知識を今後も取り入れていけるように、営業職員を支援してまいります。

太陽生命では、お客様のライフプランに合わせた資金計画を立てられる能力と幅広い知識を持った職員を、入社から早期に育成するために、新人教育プログラム「eCompass」にFP教育カリキュラムを導入し、FP資格取得を奨励しています。

T&D保険グループのその他の会社も、教育に力を入れています。

大同生命

多様化・高度化するお客様のニーズを的確に把握し、質の高いコンサルティング営業を実践していくため、当社独自のE-DFP（エグゼクティブ・ダイドウ・ファイナンシャル・プランナー）制度を設けています。当制度は、税務・財務・金融商品などの幅広い専門知識の習得を目的として、生命保険大学課程試験6科目およびFP技能検定試験（2級以上）に合格した職員に資格を与えるものです。

T&Dフィナンシャル生命

ホールセラー（代理店支援担当者）に対して、保険商品に限らず金融商品全般の知識、資産運用や法令・制度に関する知識、お客様や募集代理店へ当社商品の特徴を正確にお伝えするプレゼンテーション研修など、実践的な研修を行いサポート活動の強化に努めています。

企業経営者の皆さまのお役に立てるよう、 お客さまの立場で、誠心誠意 取り組んでいます



新横浜支社
川崎北営業所
鈴木 洋子

お客さまが元気の源。「誠意」と「真心」がよい関係を築きます

中小企業の経営者さまへの営業を続けて17年になります。お客さまと接するとき、心掛けているのは「誠意」と「真心」です。自分の利益よりも、お客さまの立場を第一に考えることが、お客さまとの長期にわたるよい関係につながるのだと思います。既契約の見直しは解約につながることもありますが、新商品のご提案にあわせて、対象となるすべてのお客さまをご訪問したこともあります。それが担当者の責務だと思ったからですが、お客さまに喜んでいただくことができました。私の元気の源はお客さまであり、お客さまとの出会いに感謝し、日々お仕事できることを幸せに思っています。落ち込んでいる時でも、お客さまとお話しをすると、パワーをいただいてこちらが充電されたような気持ちになります。

お客さまにとってのわかりやすさを追求しています

広島で5年間営業を経験した後、2010年4月から現在の部署で、お客さまに保障の必要性や具体的商品をご説明するための募集資料等を作成しています。私の目標は「お客さまがわかりやすく、興味を持っていただける資料を作成し続けること」で、常にお客さまの気持ちになって考えています。デスクワークに偏って足を使っていないと、固定観念にとらわれてしまいがちですが、自身の経験を活かしつつ現場の生の声も収集するよう心掛けています。お客さまが当社を選んでくださったことに感謝しながら、お客さまと大同生命の架け橋となる日々の仕事を通じ、今後も自身が輝き続けられるよう挑戦していきます。



商品部
販売サポート課
天野 ゆかり

大同生命は、「募集からアフターサービス、お支払いまで、お客さまが納得されるわかりやすい営業活動とサービス活動の実践」を目指してまいりました。今後もお客さまから「安心してお選びいただける会社」として確固たるご支持をいただけるよう、努めてまいります。

T&D保険グループのその他の会社も、信頼を築くお客さま対応に取り組んでいます。

太陽生命

太陽生命は2008年3月に「苦情対応マネジメントシステムに関する国際規格『ISO10002』」の第三者認証を取得し、お客さまの声を起点とする業務の改善に取り組んでいます。認証取得後も、年1回定期的に第三者認証機関の維持審査を受けています。

T&Dフィナンシャル生命

お客様サービスセンターでは、高度な実践トレーニングを積んだコミュニケーターが、全国のお客さまからのお電話によるご照会やご請求に、懇切丁寧かつ迅速正確な対応を心がけ、高品質なお客さまサービスを目指しています。



事業推進部
東日本第二推進室
営業主査
ホールセラー
藤原 純一

「縁」と「3つの目線」を大切に、挑戦を重ねています

銀行など金融機関の窓口で商品を販売していただくためのサポートを担当しています。私の直接のお取引先は金融機関のご担当者ですが、その先にはエンドユーザーであるお客さまがいらっしゃいます。資産を増やしたいというニーズがあっても、いつどのようにその資金を使うか、案外お客さまご自身も具体的には意識していらっしゃらない場合があります。そのようなお客さまの潜在的なニーズを引き出し、最適なプランと当社の商品を選んでいただくためには、自分、窓口で担当者、そしてお客さまの3つの目線で考え、仕事を進める必要があります。人と人とのつながりが大切な仕事ですので、コミュニケーションに工夫を重ね、それが結果につながってくるとやりがいを感じますね。これからもお会いした人との「縁」を大切に、しっかりとした絆を作っていきたいと思えます。

商品開発は、お客さまの声を聞くことから

お客さまのご要望にあった商品を開発するために、アンケートのご回答やお客さまサービスセンターに寄せられた声を聞くことから、私たちの仕事は始まります。また、代理店を通じたお客さまのニーズも常に把握するようにしています。商品案検討にあたっては、社内各部署から商品化を実現するための課題を聞き、一つひとつクリアするよう調整を図ります。そして、「商品内容はわかりやすいか」「保障内容は適切か」などを検証するとともに、保険価格を計算して商品案を策定します。当社では、新しい仕組みなどを積極的に取り入れ、お客さまのニーズがあるにもかかわらず、今までお応えできていなかったニーズに対応する生命保険の商品化に向けて取り組んでいます。もっとよい商品、一步新しい商品を通じて、お客さまに安心感や満足感をいただけるよう、毎日一丸となって挑戦を続けています。



商品事業部
商品企画課長
畠山 嘉博

T&Dフィナンシャル生命は、お客さまのゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備や遺族保障等に対するニーズに幅広くお応えする商品をご提供し、金融機関等窓販チャネルを通じた生命保険販売の分野において、確固たる地位を築くことを目指しています。

T&D保険グループのその他の会社も、お客さまの声にお応えする、より良い商品をご提供しています。

太陽生命

「お客さまにとってわかりやすい商品」を徹底的に追求して開発し、お客さまのニーズに即してご提案できる「保険組曲Best」は、2010年3月から「生活応援保険」をラインアップに加え、さらに充実しました。

大同生命

企業経営者の「がん・急性心筋梗塞・脳卒中」によるリスクに備えるために「無配当重大疾病保障保険」を、2010年10月に発売いたします。

第2章

企業市民としての 「挑戦 (Try) と発見 (Discover)」



全国障害者スポーツ大会@新潟

大同生命が特別協賛している「全国障害者スポーツ大会」では、参加する選手等との交流の場である「ふれあい広場」にゲームコーナーを設置し、大同生命と太陽生命の役職員がボランティアとして活動しました。



開会式(上)、競技の様子(下)



ふれあいゲームコーナーでは、来場者にボーリング、輪投げ、ヨーヨー釣りを楽しんでいただきました。



太陽生命 新潟支社
三浦 みどり

ボランティア活動に前向きに

ボランティアは初めての経験で、どのように接すればお役に立てるか不安でしたが、本当に多くの方にお出でいただき楽しんでいただけて、あっという間に時間が過ぎました。個人ではきっかけがなくても、このような機会に参加してみて、ちょっとしたことでもお役に立てるのだなと気づき、ボランティア活動に対して前向きになりました。

全国障害者スポーツ大会について

大同生命は、創業90周年の1992年に開催された第1回「全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)」(注)より、毎年、全国障害者スポーツ大会に特別協賛しています。この大会は、「障がいのある選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与すること」を目的として開催される国内最大の障がい者スポーツの祭典です。また、大会に参

加する選手等との交流の場である「ふれあい広場」に「大同生命コーナー」を毎年設置し、多くの役職員がボランティアとして活動しています。2000年からは、太陽生命もボランティア活動に参加し、グループとして活動の輪を広げています。

(注)「全国知的障害者スポーツ大会」は、2001年に「全国身体障害者スポーツ大会」と統合され、「全国障害者スポーツ大会」として開催されるようになりました。

全国一斉クリーンキャンペーン@汐留

太陽生命が取り組む地域清掃活動「全国一斉クリーンキャンペーン」に、グループ各社の有志も参加し、勤務する地域と環境を大切に思う気持ちをグループとして共有しました。



大同生命
不動産総務課
板垣 唯衣子

楽しみながら地域・環境のためになる活動

ボランティアというと奉仕心がないと務まらないのでは、と硬く考えてしまいましたが、仲のいい先輩や同僚と参加するのは意外にも楽しいものでした。暑い中、ゴミ拾いをしていると、最初からポイ捨てしないことの大切さがわかります。企業は紙や電気、水を多く使っていますので、その分を地域や環境のためにお返しする気持ちで、今後も楽しみながら積極的に活動に参加したいと思います。



T&Dフィナンシャル生命
お客様サービス本部
事業管理課
千葉 康美

地域への責任と感謝を実感

活動中に「ありがとう」「ご苦労さま」と声をかけていただきました。地域の方々の温かさに触れて、勤務地周辺地域への責任と感謝の気持ちが芽生えました。ボランティアは「できることから始めてみよう」と第一歩を踏み出すことが大切です。会社の枠を越え、さまざまな人とともに、一つのことに取り組むのは気持ちがよくて、毎回参加するのが楽しみです。

全国一斉クリーンキャンペーンについて

地域社会に対する太陽生命の貢献活動の一つに、1982年より年1回行ってきた、本社周辺の清掃活動が挙げられます。2004年からは「全国一斉クリーンキャンペーン」とし、北は釧路から南は沖縄まで、全国の支社でも周辺地域の清掃活動を実施するようになりました。2009年度は、本社・関連会社および支社から8,704名(従業員の家族を含む)が参加しています。

本社(汐留地区)では、東京都港区役所のご協力のもと、「みなと環境にやさしい事業者会議」メンバー企業や地域住民の皆さまとともに、みなとタバコルール(指定場所以外での路上・歩行の喫煙、たばこのポイ捨て禁止)徹底のための活動と連携した「クリーンアップ大作戦」を展開しました。当日はグループ各社(大同生命、T&Dフィナンシャル生命、T&Dアセットマネジメント、T&Dホールディングス等)の有志も参加しました。

第3章

地球環境を守るための 「挑戦 (Try) と発見 (Discover)」



事業活動を通じた環境負荷への配慮は、私たちの社会的責任の一つです

T&D保険グループは、役職員の一人ひとりが事業と環境の関わりを意識し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

グループが一体となって取り組むために、伝える工夫も大切です

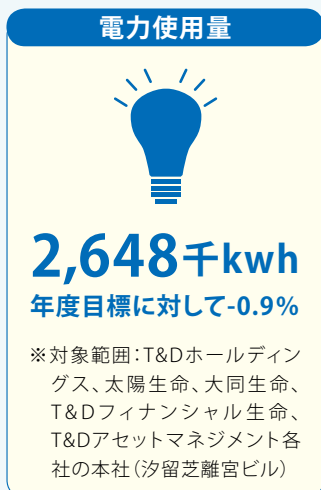
私はT&Dホールディングスの担当者として、傘下各社やビル所有者と連携し、環境負荷データの管理や共通目標の設定といった、グループとしての環境マネジメント推進や、ライトダウンキャンペーンなどのグループ全体の取り組みに関わっています。

取り組みの効果を上げるためには、伝える工夫、つまり、当たり前のようなことでも繰り返し呼びかけたり、印象に残る企画を立てたりすることも大切と思っています。例えば、T&Dホールディングス内で発信している月次環境レポートには、「離席したときのパソコンの省エネ設定」や「エコマーク商品でないクリップは再利用を徹底」といった細かい注意事項を、繰り返し書き添えています。また、コピー枚数の削減では社内対抗戦を企画し、社長による表彰を行ったところ、無駄なコピーの撲滅意識が浸透したように思います。

T&Dホールディングス
総務部
藤原 崇師



環境に関する目標と実績値 (2009年度)



環境のために今できることを、いろいろな角度から取り組んでいます

国や紙をつくる企業、環境NGO等とともに、地球環境を守るさまざまな活動に取り組んでいます。

削減する一方で森林の保全にも貢献する、さまざまな紙の使い方を考えています。

T&D保険グループでは、業務上、多量の紙を使用しています。そのため、事務のペーパーレス化をはじめ、複数のページを1ページに縮小して印刷するプリンターの導入や会議資料の削減などの取り組みにより、紙の使用量削減に努めています。一方で、「どうしても紙を使用するなら、森林保全につながるものを選ぶ」という考え方も取り入れています。一体どんな考え方なのでしょうか？

紙の原料に使われる木材チップの大半は、海外からの輸入品です。日本の国土は2/3が森林に覆われていますが、その4割程度は木材供給を目的に植えられた人工林です。価格の安い輸入品に対して、国産材を利用するには採算が合わないということが続き、利用されずに手入れもされず、荒れてしまう森林さえあるといえます。二酸化炭素の吸収や自然災害の防止など

の森林の機能を十分に発揮させ、多様な生物が息づく身近な環境として森林を保全していくためには、「植える、育てる、収穫する、上手に使う」というサイクルをうまく働かせることが有効なのではないか。そこで生まれたのが、「紙を使いながら森林に貢献できる紙」。用紙の価格の一部が、国産材の運送費や里山保全活動などの費用に当てられる仕組みになっています。グループCSRレポートも、このような紙を選んで使用しています。



国産材利用を普及啓発する「木づかい運動」(林野庁)を象徴する、3.9グリーンスタイルマーク



CSRレポート2010

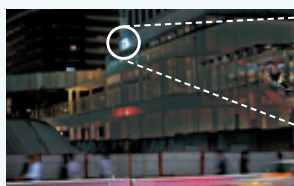
ライトダウンキャンペーン

T&D保険グループでは、2010年7月7日の夜8時、汐留本社ビルを中心に執務室の一斉消灯を呼びかけるライトダウンキャンペーンを実施しました。この取り組みは、民間の呼びかけである「100万人のキャンドルナイト」と環境省が連携し、地球温暖化防止の観点から、ライトアップ施設や室内等の電気を消して環境問題を考えるきっかけにしようと呼びかける「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に賛同したものです。

この日は、役職員に早く退社するよう促すとともに、家庭でもなるべく電気を消して、普段いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えるよう呼びかけました。こうした取り組みを一つひとつ重ねることで、役職員一人ひとりの意識向上につながると考え、年に2回、7月と12月に実施しています。



ライトダウンキャンペーンポスター



汐留本社ビルのグループ・ロゴマーク(消灯前)



執務室と同時にロゴマークも消灯

財団法人「地球友の会」とともに

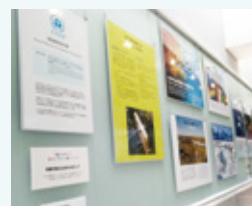
T&Dホールディングスでは、UNEP(国連環境計画)機関誌の日本版である「Our Planet—私たちの地球」や「TUNZA—ツンザ」を制作している環境NGO 財団法人「地球友の会」の活動に協賛しています。両誌はT&D保険グループ各社のほか、地方の中学・高校や、公共図書館等に広く配布され、環境意識啓発に役立てられています。

また、「地球友の会」が運営する「UNEP地球環境情報展」にも協賛しています。「UNEP地球環境情報展」は、空港など多くの人が集まる場所に環境写真・環境パネルを展示しご覧いただくことで、環境に対する意識を高めるための活動です。

自分たちだけではできない地球環境を守るための取り組みを側面から支援することも、企業の社会的責任の一つとして重要と考え、今後もグループ外部の活動などに協賛していきます。



Our Planet, TUNZA



UNEP地球環境情報展

T&D保険グループCSR憲章と主な取り組み

T&D保険グループは、グループ経営理念および経営ビジョンに基づき、CSRをより一層推進するために、CSRの基本的な方針としてT&D保険グループCSR憲章を制定しています。主な取り組みをCSR憲章に則ってダイジェストで紹介します。

T&D保険グループCSR憲章

T&D保険グループは、経営理念に基づき、社会とともに持続的成長を遂げ、生命保険業等の公共的使命と企業の社会的責任を果たします。

① より良い商品・サービスの提供

お客さまのニーズにあった最適で質の高い商品・サービスを提供します。

② コンプライアンスの徹底

- ・法令、ルール等を厳格に遵守し、誠実に行動します。
- ・公正かつ自由な競争を維持・促進します。
- ・市民社会の秩序や安全をおびやかす反社会的勢力や団体に対しては、毅然とした態度で対応します。

③ 人権の尊重

- ・人権を尊重し、人権啓発に積極的に取り組みます。
- ・従業員の人格を尊重するとともに、安全で働きやすい環境を確保し、人材育成を図ります。
- ・プライバシーを尊重し、個人情報の管理・保護を徹底します。

④ コミュニケーション

お客さまや株主はもとより広く社会に対して、経営情報を適時適切に開示するとともに、積極的に対話を図ります。

⑤ 地域・社会への貢献

良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行い、地域・社会の健全な発展に貢献します。

⑥ 地球環境の保護

企業活動に際して、環境問題の重要性を十分認識し、地球環境の保護に配慮して行動します。

より良い商品・サービスの提供

1

- 「お客さまの声」を経営に活かす取り組み
- 「お客さま目線」を基本とする、商品やサービスの品質管理、継続的改善
- サービス担当者のスキルアップの取り組み

フォーカス編P3-6、データ編P18-26



「すべてのお客さまに早く、わかりやすく、簡単に」 大同生命のCS推進向上ポスター

コンプライアンスの徹底

2

- コンプライアンス行動規範の遵守
- コンプライアンス・プログラムに基づく研修等の実施
- 内部者通報制度

データ編P12-13



コンプライアンス・マニュアルは日常の手引書とすると同時にコンプライアンス研修の教材として活用しています。

人権の尊重

3

- 人材の活用と育成
- ワーク・ライフ・バランス、多様性への取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- 人権教育 • 個人情報の保護

データ編P23、P27-29



生保3社とT&D情報システムは、次世代育成支援に努めています。

コミュニケーション

4

- 積極的な情報開示
- IR活動
- ステークホルダーとのコミュニケーション

データ編P15-16



ご契約者懇談会、事業報告懇談会をはじめ、ステークホルダーとのコミュニケーションを行っています。

地域・社会への貢献

5

- 献血 • 全国障害者スポーツ大会への特別協賛
- 全国一斉クリーンキャンペーン
- 日本ダウン症協会への支援
- 従業員の寄付による自主的な貢献活動

フォーカス編P7-8、データ編P30-32



T&D保険グループでは、東京都赤十字血液センターへの献血の協力を行っています。

地球環境の保護

6

- 森林保全・育林の取り組み
- 環境教育・啓発
- 数値目標による取り組み

フォーカス編P9-10、データ編P33-36



森林資源の還元と緑化保全を目的に、太陽生命では、栃木県那須塩原市と滋賀県高島市に「太陽生命の森林」を設置し、育林活動を進めています。

T&D保険グループCSRレポートは、当グループのCSRについて、「皆さまに特にお伝えしたいことをわかりやすく、読みやすく」と考えてつくった「フォーカス編」(本冊子)と、グループの取り組みを網羅し、一層詳しくご紹介することに努めた「データ編」の2つのスタイルで情報を開示しています。「データ編」は、T&DホールディングスのWebサイトからご覧いただけます。

<http://www.td-holdings.co.jp/>

トップメッセージ

「挑戦」と「発見」を原点に、皆さまの信頼にお応えしてまいります



株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長

宮戸 直輝

T&D保険グループの中核事業である生命保険事業は、皆さまの暮らしや社会を支える生活保障のご提供という、大きな公共的・社会的使命を担っています。

T&D保険グループ各社ではその使命を果たすために、それぞれが独自性のあるビジネスモデルの強みを最大限に活用して営業基盤を強化するとともに、役職員の一人ひとりが「お客さま目線」を大切に、「今、私たちには何が求められているのか」ということを真摯に考えながら、時代や社会的ニーズの変化を先取りした商品やサービスの品質向上に取り組んでいます。



企業が持続的に成長していくためには、社会からの信用を得て、社会とともに発展していくことが不可欠です。そのために、T&D保険グループでは、役職員が自分の仕事に強い使命感と誇りを持って、適切に業務を遂行できるように取り組んでいくとともに、事業をさせていただく基盤である社会と地球環境に対する感謝を忘れずに、グループが一つになって持続可能なより良い未来に向けて貢献していきたいと考えています。

私たちT&D保険グループは、「Try&Discover（挑戦と発見）による価値の創造を通じて、人と社会に貢献する」という経営理念のもと、「挑戦」をしなければ何ら新しい「発見」はない、ということを原点に、半歩でも一歩でも成長していくために何をすればいいのか。役職員の一人ひとりがそれぞれの立場で常に考え行動し、皆さまの信頼にお応えできるよう努めてまいります。

第三者意見



企業行動研究センター

所長 菱山 隆二 氏

T&D保険グループが持続的成長を遂げて社会的責任を果たして欲しい、そう願う見地から気がついたことを申し述べます。読者の皆さまもこの考え方を共有して、アンケートなどの機会があればぜひ前向きなご意見を提出して下さるよう希望します。

今年、CSRレポート2010を「フォーカス編」と「データ編」に分けたのは、新たな“挑戦と発見”の道程と受け止めました。いろいろな反響を受けて来年も一段と進歩がなされることでしょう。

CSRレポート「フォーカス編」(以下CSRレポート)の1頁目は、経営理念を取り上げ、“挑戦と発見”こそが1人ひとりが胸に抱く言葉だと説いています。内容は、“挑戦と発見”の観点から第1章以降が構成されています。このように経営理念を基盤に据えて取り組む姿勢には清々しさがあります。なぜなら、“挑戦と発見”という経営理念が日常の経営の軸となっていることを明確に表しているからです。世の中には、残念なことに経営理念を棚上げして経営判断を行うために経営の軸がぶれ—その多くは利益極大化のみに目が眩んで不祥事を引き起こす企業が目につきます。T&D保険グループは、引き続き経営理念に密着した経営を誠実に堅実に継続して下さるよう、あらためて要望する次第です。

T&D保険グループのCSR憲章は、「経営理念に基づき、社会とともに持続的成長を遂げ、生命保険業等の公共的使命と企業の社会的責任を果たします」とうたっています。CSR憲章の第1項は「より良い商品・サービスの提供」を掲げています。それゆえに、レポートの第1章に「お客さま目線」に徹底して取り組む姿勢を強調しているのは頷けることです。ただし、T&D保険グループが本業の生命保険事業を中心に

社会に貢献していく以上、本業でどのような中長期的な展望・事業戦略を持って安心を提供し、社会に寄与していくのか、短くとも概括的な説明がなされても良かったのではないかと考えます。

また、昨今、地球環境保護における金融の新たな役割の拡大が期待されて、環境プロジェクトへの投融资や環境格付融資などが金融機関としての本業を通じたCSRの例として挙げられています。国内の金融機関25社が「環境金融行動原則」の策定に動く、との報道もあります。T&D保険グループは環境に関わる金融の役割にさらにどのように取り組んでいくのか、ステークホルダーは関心を持っていると思われます。第3章「地球環境を守るための“挑戦と発見”」のなかで簡潔に記述したら良かったのではないかと考えます。

総じて「わかりやすく」「読みやすく」を旨とした叙述は、その目的を果たしました。表紙デザイン(および挿絵)は斬新で、手書きの温もりを感じ、好感を抱きます。

こんな形で私もCSRレポートに参加させていただき、お礼を申し上げます。

【略歴】

三菱石油(現在のJX日鉱日石エネルギー)で国内外の多様な仕事をこなし顧問を最後に退任。米国のベントレー大学経営倫理研究センターで特別客員研究員。帰国後、企業行動研究センターを設立。企業倫理・企業の社会的責任(CSR)、社会的責任投資(SRI)の浸透をミッションとして、企業のコンサルティング、大学出講、関連NPO法人の理事を務める。著作は「倫理・コンプライアンスとCSR 第二版」(経済法令研究会)ほか多数。

Try & Discover

T&D T&D保険グループ

株式会社 T&Dホールディングス

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番3号 TEL: 03-3434-9111(代)
http://www.td-holdings.co.jp/ mail: csr@td-holdings.co.jp



T&Dホールディングスは、地球温暖化防止国民運動チャレンジ25キャンペーンに参加しています。

地球のいのち、つないでいこう



わたしたちは生物多様性に配慮しています



グリーン購入に取り組んでいます。



2010年 国際生物多様性年



A-(2)-090011



本レポートは、印刷用紙に生物多様性の保全に貢献する「里山物語」、インキは100%植物油(NON VOC)インキを使用しています。また、印刷工程ではフィルムを使用しない「CTP」、有害廃液を出さない「水なし印刷方式」で印刷しています。



本誌はより多くの人にとってわかりやすい色づかいに配慮したデザインであると、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構によって認定されました。

